

エゼネ一旗 50 年史

児玉 香菜子 (国立民族学博物館)

年間平均降雨量が 50mm にもみたくない内モンゴル自治区エゼネ一旗 (図 1) には、黒河が流れ込むことによって、ゴビと呼ばれる広大な礫沙漠の中に緑豊かな川辺林が形成されている(写真 1)。

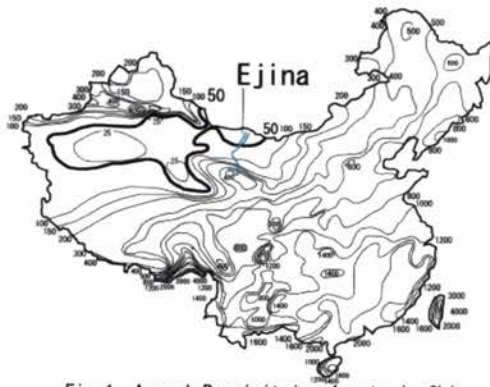


Fig. 1. Annual Precipitation Amounts in China
(Editorial Committee for the Climatological Atlas of the People's Republic of China, 2002: 49)

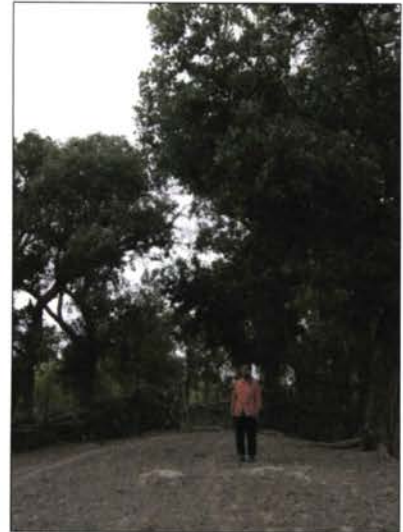


写真 1 川辺林 - 胡楊林 -

図 1 中国の年降水量

この川辺林の主な植生は、モンゴル語でトーライ (Toorai)、漢語名の胡楊で知られるポプラである (写真 1)。また、モンゴル語でソハイ (Soqai) と呼ばれるギョリュウ科落葉低木のタマリスクもよく見られる。ポプラの落ち葉とタマリスクはラクダとヤギの大事な

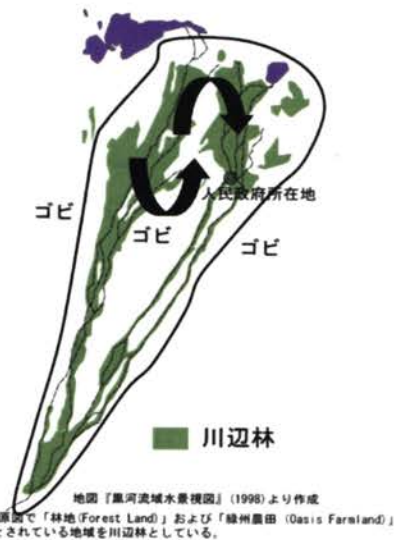


図 2 川辺林内における季節的な移動放牧



写真 2 干上がった湖

飼料である。エゼネー旗に暮らす牧畜民は、このように川辺林内の豊富な水資源と植生を利用して、川辺林内で遊牧をおこなってきた（図2）。

しかし、過去50年の間に、黒河中流域の大規模灌漑によって下流域エゼネー旗に注ぐ流量は激減した。そのため、河川の末端にあった2つの湖のうち、267平方kmあった湖は1961年に干上がった。もう1つの湖も年々縮小し、1992年に完全に干上がってしまう（写真2）。

河川流量の減少と平行して、1949年以降、人口が著しく増加した（図3）。1949年2255人に過ぎなかったエゼネー旗の総人口数は、2004年には16633人、約7.4倍に増加した。この人口増加は漢族の人口増加におうところが大きい。1950年に総人口のわずか12%を占めるにすぎなかった漢族人口は2004年には70%を占めるようになっている。

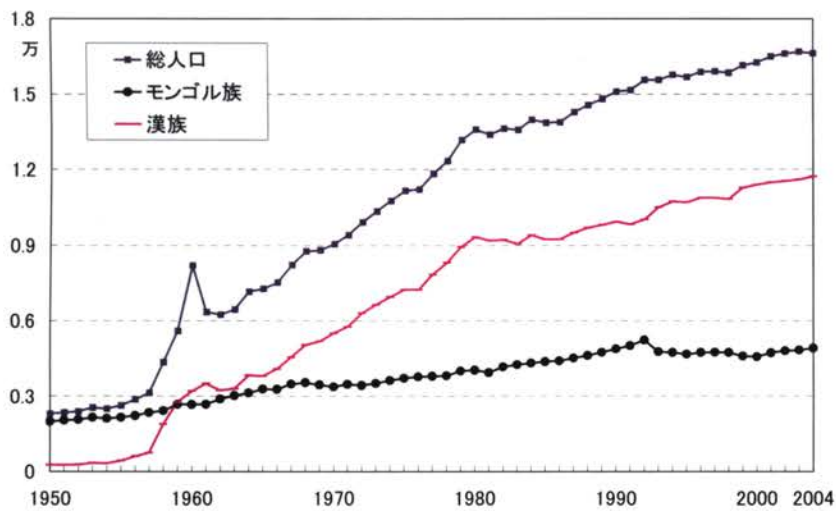


図3 エゼネー旗の人口変化（1950年 - 2004年）

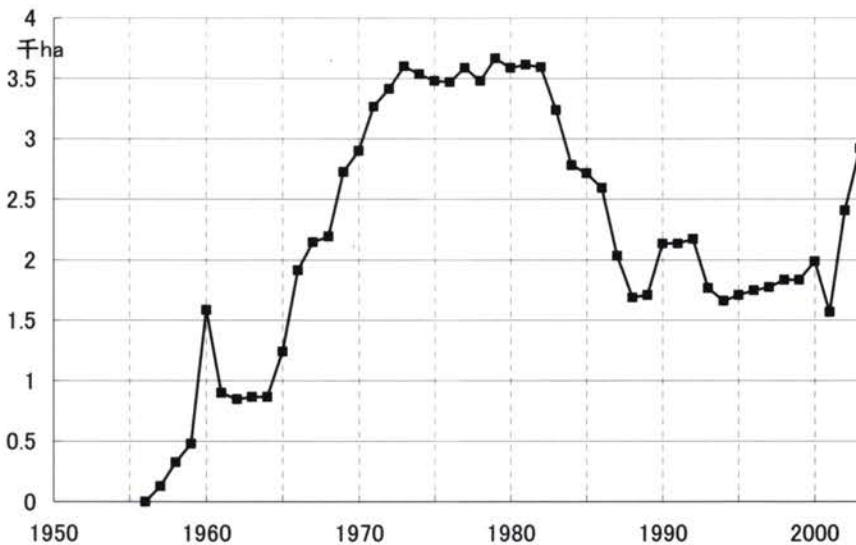


図4 エチナ旗における耕地面積の年推移 1950年-2003年

エゼネー旗における耕地面積も人口増加にともない増加した（図4）。1956年からはじまる川辺林の開墾は、1970年から1980年代前半にかけてピークを迎え、耕地面積は3500ha



写真3 開墾された川辺林



写真4 川辺林の荒廃

に達した。1980年代後半から耕地面積は減少していくが、2000年でも耕地面積は2000haに達する。いかにいけば、これだけの川辺林が開墾され、放棄されたことになる(写真3)。

河川流量の減少と人口増加に伴う耕地面積の増加の結果、豊富な河川水に支えられた緑豊かな川辺林は急速に荒廃が進んだ(写真4)。現在、この地は、黄砂の発生源とされるまでになっている(写真5)。

牧地の荒廃が進む中で、1980年代以降、人民公社の解体を経てゴビをのぞいて、牧地が分配された。その結果、牧畜民の定着化がすすみ、移動放牧ができなくなった牧畜民は、開墾された川辺林で牧草を栽培して飼料を準備するようになった。近年では、綿花など経済作物を栽培するようになっている(写真6, 7)。

一方、定着化とは逆に、分配された川辺林内の牧地と共有地であるゴビを利用した季節的な移動放牧をおこなっている牧畜民もいる。空間と水の資源利用に着目すると、灌漑に依存しない季節移動は水資源節約型であるのに対し、灌漑に依存する綿花栽培は水資源浪

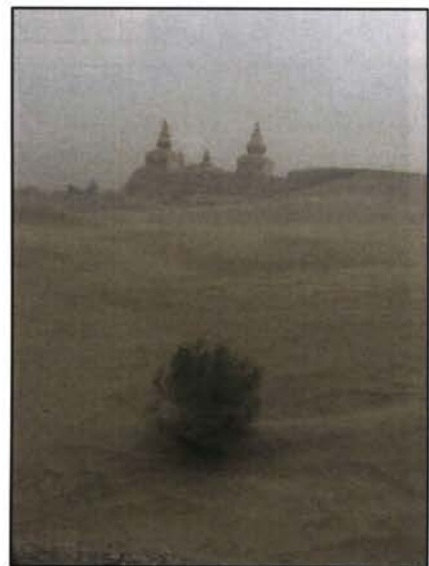


写真5 砂嵐-カラ・ホト



写真6 綿花栽培



写真7 地下水による灌漑

費型といえる（図5）。

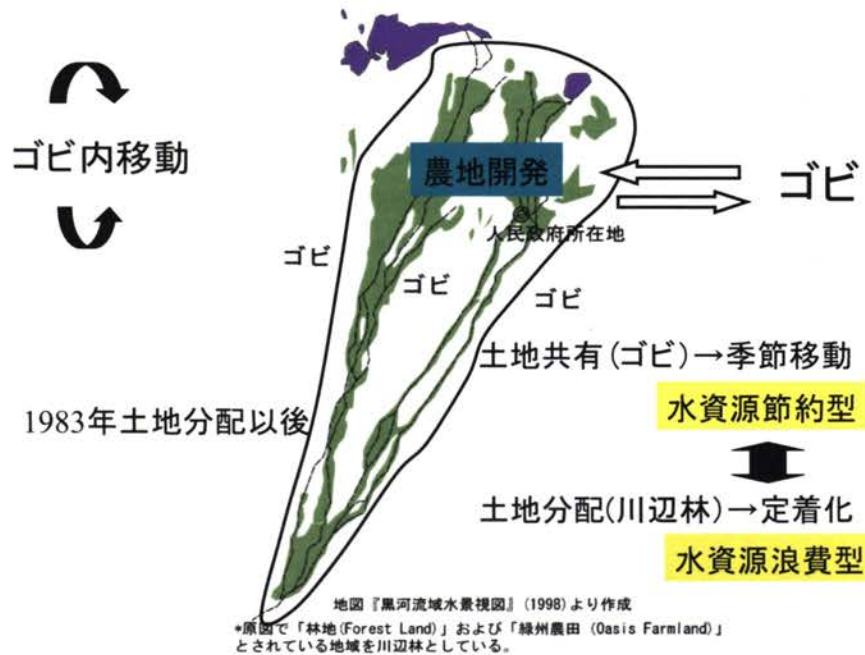


図5 水資源の利用の二極化

こうしたなかで、中国政府は川辺林の保護と黄砂対策を目的に、川辺林内に暮らす牧畜民と家畜を川辺林外部に移住させるという「生態移民」をすすめている。移住先は人民政府所在地郊外もしくは各村にある集中居住地、移民村である（写真8, 9）。移民村では、灌漑で栽培した飼料で家畜を畜舎で飼育することになっている。「生態移民」はエゼネー旗の川辺林が荒廃するにいたった農地開発と水資源の大量消費を志向するものである。事実、2002年から耕地面積が増加している（図4）。

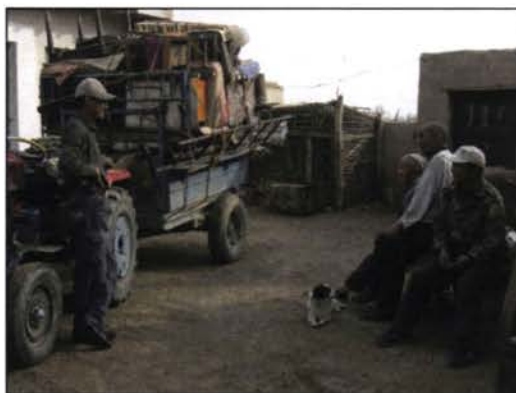


写真8 移民村に移住する家族



写真9 生態移民家族—移民村—

農地開発と過剰な地下水利用に対して、多くの牧畜民がエゼネー旗の「カラ・ホト（黒城）」化を憂いている。カラ・ホトとは、水資源の枯渇によって廃墟となった有名な遺跡である（写真5）。